

現場を知るドライバーから、管理者へと歩みを進めた速水。ドライバーリーダーとして仲間の先頭に立つ綾瀬。管理者やドライバーに求められる取り組みを、それぞれの視点から紹介していきます。

第6話 安心はまだ早い！ 構内の危険と安全行動

でもまだ
最後の左折が
ある：

ドライバーリーダー
綾瀬 小陽(25)

納品先の看板が
見えた！

敷地内にも構内事故の危険は潜んでいる！

お世話になります

ホッとするのは禁物ね！

…と安心
するのは
まだ早い!!

カッ

歩道手前で
停車して…

よし！
確認

チカチカ

曲がれば
到着！

これでやっと到着!

スッ

エンジン停止

カチリ

クイッ

サイドブレーキ

そして
車輪止めを装着…

「必ず降りて指差呼称する」と指切りげんまんしたんですよ

ステキー！

鈴木さん専属の可愛い

運行管理者ですね！

パパとやくそく！

構内事故

時速10キロ以下
10メートル以内の
移動で

オーバーハングや
バック事故は
起きている！

構内事故は
時間とお金の無駄
さらに
お客さまからの
信用まで
失うことになるぞ！

センター長(管理者)
速水 涼(37)

構内事故について
話してましたね

誰が
厳しいだ!!

そういうば
ウチの「厳しいほう」の
運行管理者も

確かに構内はトラックもフォークリフトもバック走行が多くなる…

危険だらけですね…

綾瀬さんは何か意識してすることはありますか？

作業中は
「出発までのこと」に
集中します!

次の段取りを
考えるのは
「手ぶらのとき」
だけですな

昼食はなにに
しようかな?

高速道路は
混んでいないかな?

次は〇〇産業
さまの
集荷だな

なるほど!

特に危険なのが
フォークリフトの
「ながらスマホ」です!
事故が起きてから
ルールを作るんじゃ
遅いの!

おつかれっすー

ウイター!

今っすか?
全然大丈夫
つすよ!

まさかのタイミングで
早速「ながら運転」
ですね...

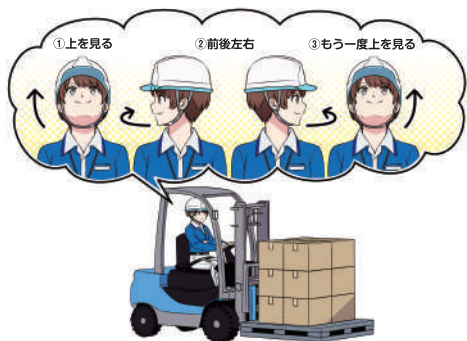
しっかり
防止策を
考えないと...

構内事故の防止策は解説ページで

安心はまだ早い！ 構内の危険と安全行動

上下の死角は「首を動かす確認」でカバー

フォークリフトはマストを伸ばすと高さが変わります。人間の上下の視界は狭いため、作業前には首を大きく動かし、「上・前後左右・上」の順番で上部設備との距離を確認してください。

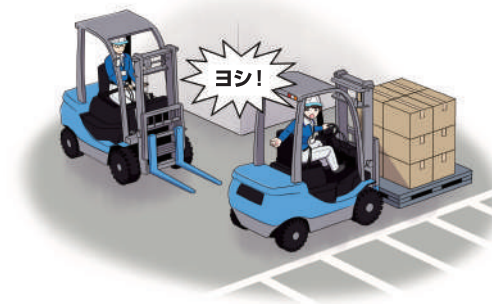


マストを伸ばす前は、首を動かして
「上・前後左右・上」の順で確認を！

マンガ制作：トレンド・プロ

「ヨシ!」の実践、現場でねぎらう

構内事故は、単独による「だろ判断」や「だろ作業」から多く発生します。管理者は結果だけに着目するのではなく、決められたルールを守っているプロセスを現場で確認し、感謝とねぎらいをもって評価しましょう。



自ら安全を考え行動を律する。そして管理者が現場でねぎらう。
このサイクルが事故を防ぐ鍵に！

ルールなき構内で守る、
自立と自律の安全策

管理者・トラックドライバー、双方の視点から必要な心構えや
事故防止ノウハウを紹介していきます。

構内は・無防備ならば・無事故なし

構内事故は、毎日行っている作業など、日常の光景の中で起きてしまうのが特徴です。私有地である構内は道路交通法の対象外となるが多く、安全ルールが確立されていなかったり、自由度の高い作業では、どうしても事故の発生率が高まります。

しかし、そうした決まりがない場所では、自ら安全を確保する方法を考える「自立の安全」が求められます。また、ルールがあっても警察官による取り締まりがないため、自らの行動を律する「安全の自律」も必要です。

構内の安全確保には、「停止・速度・優先」のルールを定めることが有効です。構内で事故が起きていなくても、誰かがケガをする前にルールを作りましょう。交差点がなくても「停止と確認」を、信号機がなくても「優先と合図」を定めます。たとえば、2台のフォークリフトが鉢合わせした場合、動き出す方向を確認して「ヨシ!」と先に言った人に優先権を与えるルールにすれば、指差呼称の奨励にもつながります。

人にとって「高さ」は弱点？

道路での事故と比べると、構内事故は被害が小さく、報道されることは少ないかもしれません。しかし、道路上にはない特有の危険として、「高さ」による接触や落下が挙げられます。足がすくむような高いラックの上などでは、恐怖心から慎重に行動するものです。一方で、比較的「低い」位置での高所作業は怖さを感じにくく、プラットホームやトラックの荷台から飛び降りてしまう人も散見されます。人が落下する際の頭部の高さは「身長＋足場の高さ」になります。そのため、低い足場であってもヘルメットだけでは衝撃から頭部を守りきれないことがあり、「低い位置での高所作業」こそ危険の温床といえるのです。

便利なものは危ないもの

フォークリフトは便利で操作も簡単なため、つい過信から横着な操作になりやすい乗り物です。トラックに比べてホイールベースが短く小回りが利く反面、路面の凹凸や傾斜の影響を受けやすいため、事前に作業範囲の路面状況を確認しておきましょう。

また、訪問先でフォークリフトを借りる際は、いきなり貨物を動かしてはいけません。まずは空車の状態、ブレーキの利き具合やマストの継ぎ目部分の振動などを確かめることが大切です。フォークリフトは運転に免許が必要な「危険な乗り物」であることを忘れず、ヘルメットの顎ひもをしっかり締めて、気を引き締めて乗務してください。



高柳 勝二 (たかやなぎ かつじ)

株式会社 プロデキューブ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデキューブ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。